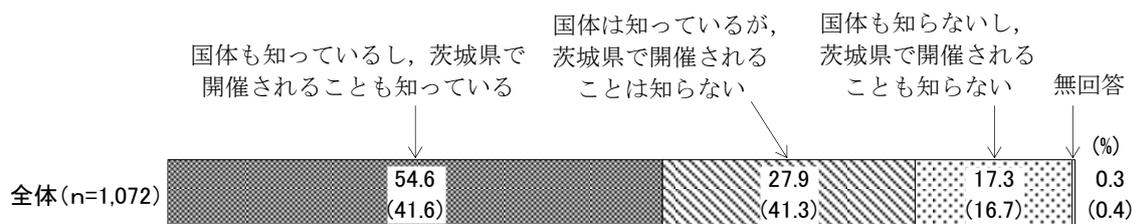


Ⅲ 第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会

1. 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が5割台半ば－

問6 あなたは、国内最大のスポーツの祭典である「第74回国民体育大会(以下、「国体」といいます)」が、2019年(平成31年)に茨城県で開催されることをご存じですか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況としては、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」(54.6%)が5割台半ばとなっている。一方、「国体は知っているが、茨城県で開催されることは知らない」(27.9%)は約3割となっている。

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が13ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が13ポイント増加している。一方、「国体は知っているが、茨城県で開催されることは知らない」は約13ポイント減少している。

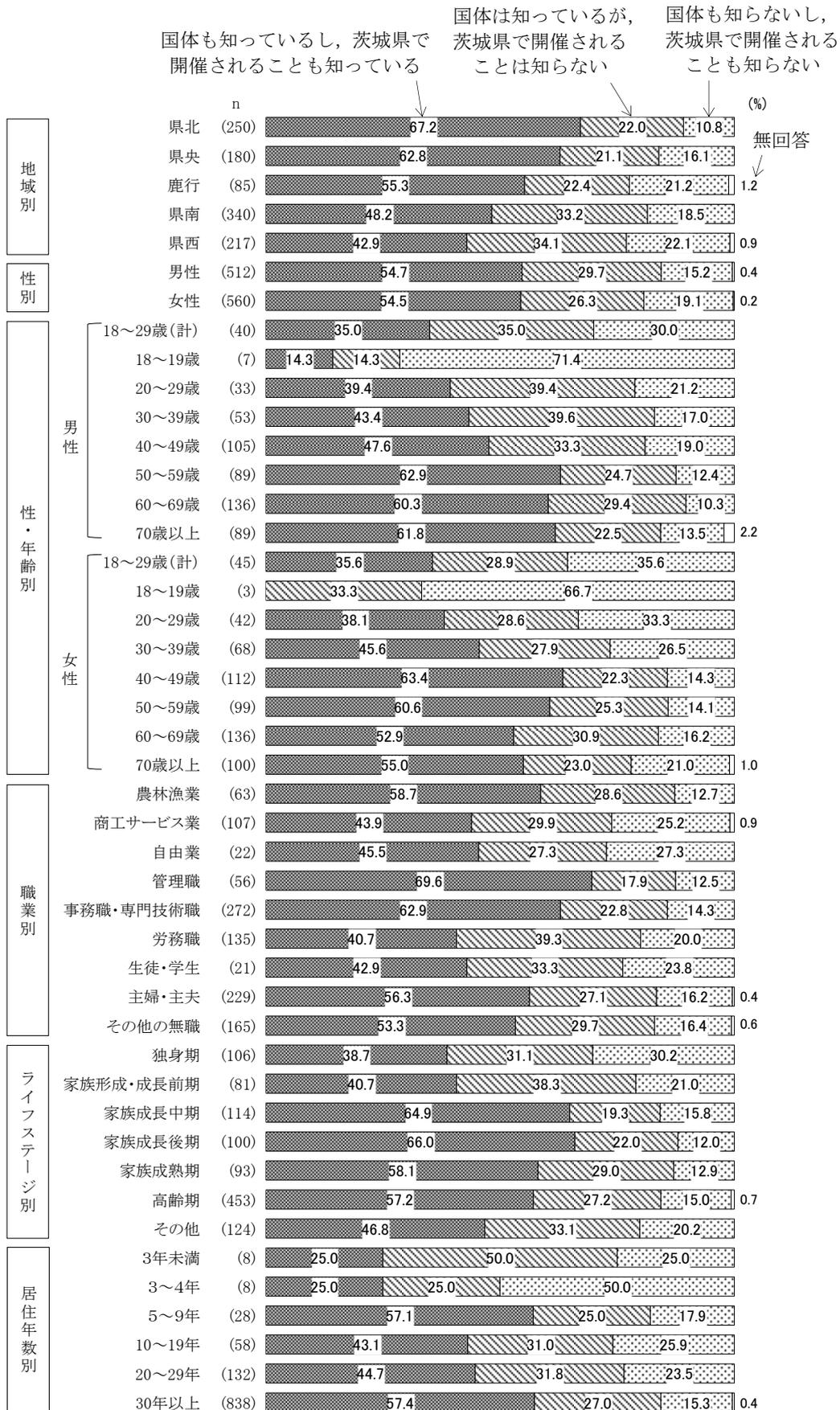
－県北で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が約7割－

地域別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、県北(67.2%)で約7割と最も高く、次いで、県央(62.8%)で6割を超えて高くなっている。

－男性の50代以上、女性の40代、50代で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が6割超－

性・年齢別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、男性の50代(62.9%)、60代(60.3%)、70歳以上(61.8%)、女性の40代(63.4%)、50代(60.6%)で6割を超えて高くなっている。

図Ⅲ 6-1 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



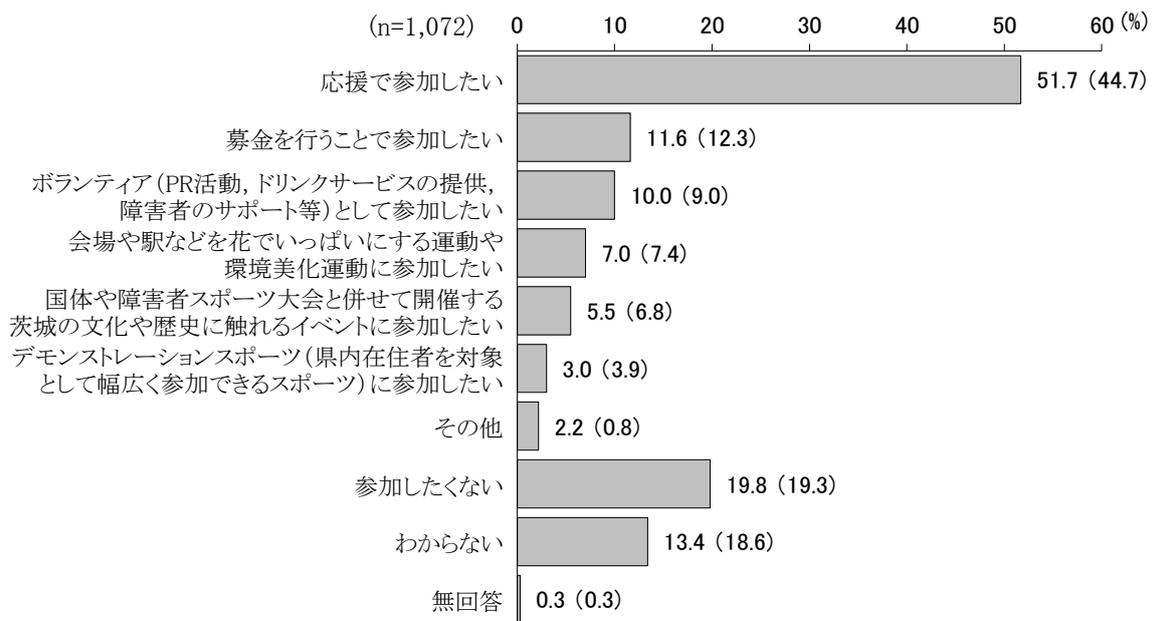
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目

－「応援で参加したい」が5割超－

問7 2019年に、茨城県で、第19回全国障害者スポーツ大会(以下「障害者スポーツ大会」といいます)も開催されます。ここからは、国体と障害者スポーツ大会の両方の大会についてお聞きします。

あなた自身が国体や障害者スポーツ大会に参加する場合、どの項目で参加したいですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目としては、「応援で参加したい」(51.7%)が5割を超えて最も高く、次いで、「募金を行うことで参加したい」(11.6%)と「ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい」(10.0%)が1割台で続いている。一方、「参加したくない」(19.8%)が約2割となっている。

－「応援で参加したい」が7ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「応援で参加したい」が7ポイント増加している。

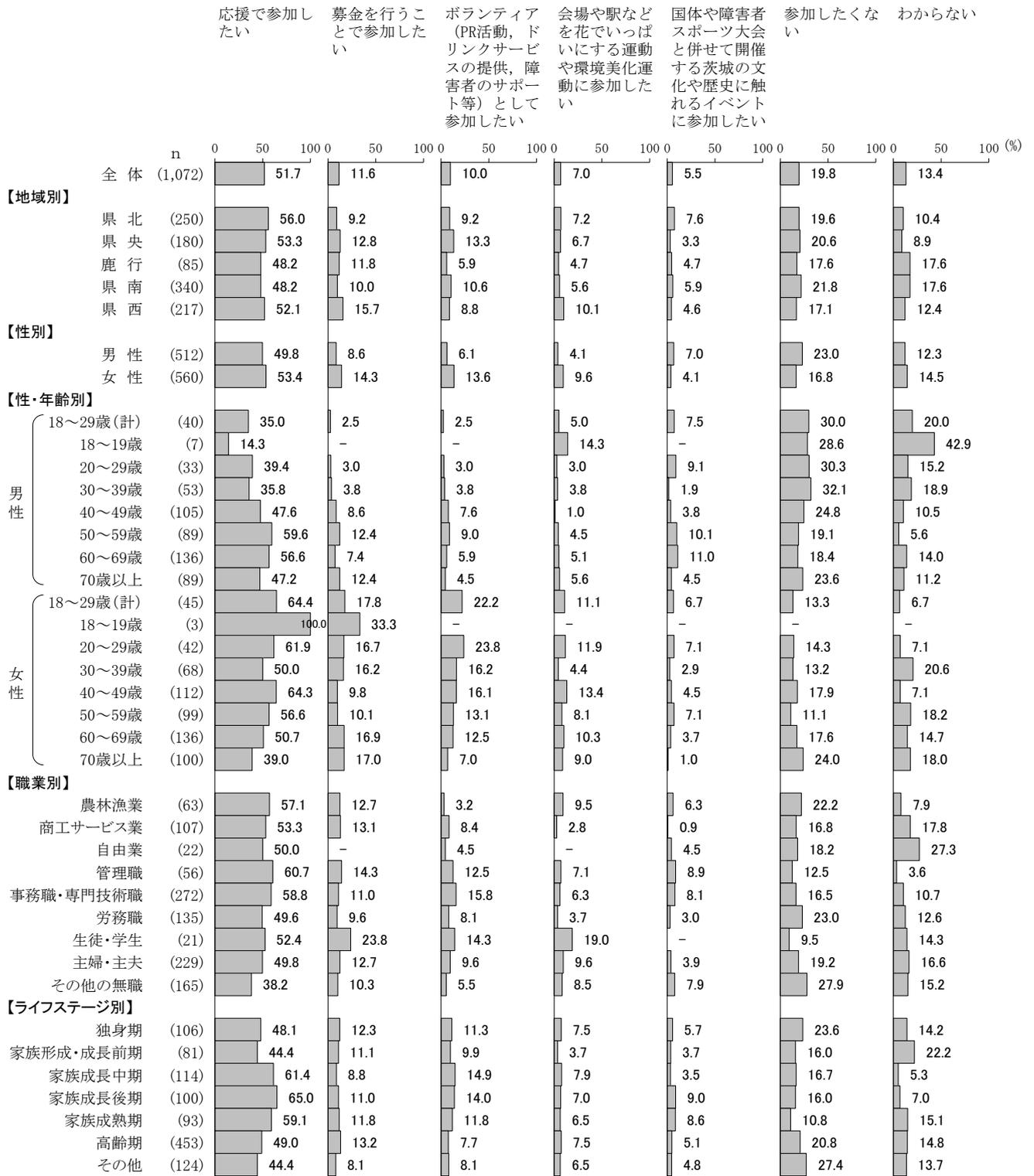
－女性で「ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい」が男性よりも約8ポイント、「募金を行うことで参加したい」と「会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい」が男性よりも約6ポイント高い－

性別で見ると、「ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい」は、女性(13.6%)が男性(6.1%)よりも約8ポイント、「募金を行うことで参加したい」は、女性(14.3%)が男性(8.6%)よりも約6ポイント、「会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい」は、女性(9.6%)が男性(4.1%)よりも約6ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳と40代で「応援で参加したい」が6割台半ば－

性・年齢別で見ると、「応援で参加したい」は、女性の18～29歳(64.4%)と40代(64.3%)で6割台半ばと高くなっている。

図Ⅲ 7-2 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表Ⅲ 7-1 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目
(前回調査との比較-上位5項目)

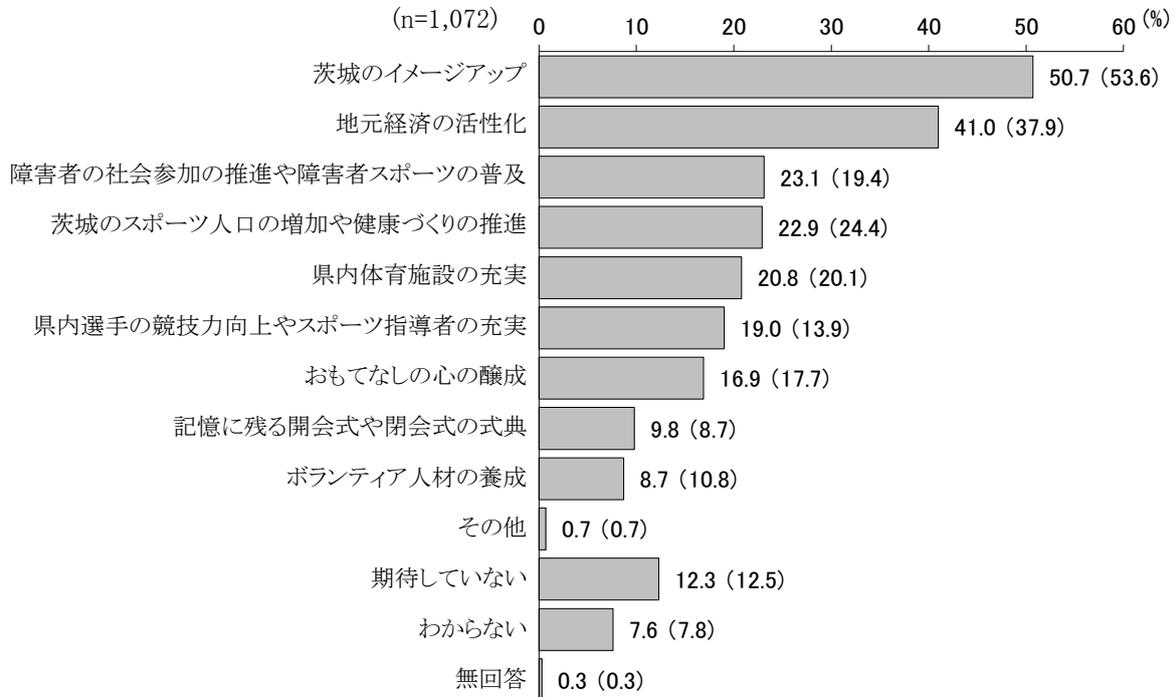
(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H29) n=1,072	応援で参加したい 51.7	募金を行うことで参加したい 11.6	ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい 10.0	会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい 7.0	国体や障害者スポーツ大会と併せて開催する茨城の文化や歴史に触れるイベントに参加したい 5.5
前回調査 (H28) n=1,093	応援で参加したい 44.7	募金を行うことで参加したい 12.3	ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい 9.0	会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい 7.4	国体や障害者スポーツ大会と併せて開催する茨城の文化や歴史に触れるイベントに参加したい 6.8

3. 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること

－「茨城のイメージアップ」が約5割－

問8 茨城県で国体や障害者スポーツ大会を開催することで、あなたが期待することは何ですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成28年の調査結果

国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待することとしては、「茨城のイメージアップ」(50.7%)が約5割で最も高く、次いで、「地元経済の活性化」(41.0%)が4割台、「障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及」(23.1%)、「茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進」(22.9%)、「県内体育施設の充実」(20.8%)が2割台で続いている。

－「県内選手の競技力向上やスポーツ指導者の充実」が約5ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「県内選手の競技力向上やスポーツ指導者の充実」が約5ポイント増加している。

ー県西で「茨城のイメージアップ」が約6割ー

地域別でみると、「茨城のイメージアップ」は、県西（57.1%）で約6割と最も高くなっている。

ー女性で「地元経済の活性化」が男性よりも約8ポイント高いー

性別でみると、「地元経済の活性化」は、女性（44.8%）が男性（36.7%）よりも約8ポイント高くなっている。

ー女性の18～29歳で「茨城のイメージアップ」が6割ー

性・年齢別でみると、「茨城のイメージアップ」は、女性の18～29歳（60.0%）で6割と最も高く、次いで、男性の50代（56.2%）、60代（56.6%）、女性の40代（57.1%）、50代（57.6%）で5割台後半と高くなっている。

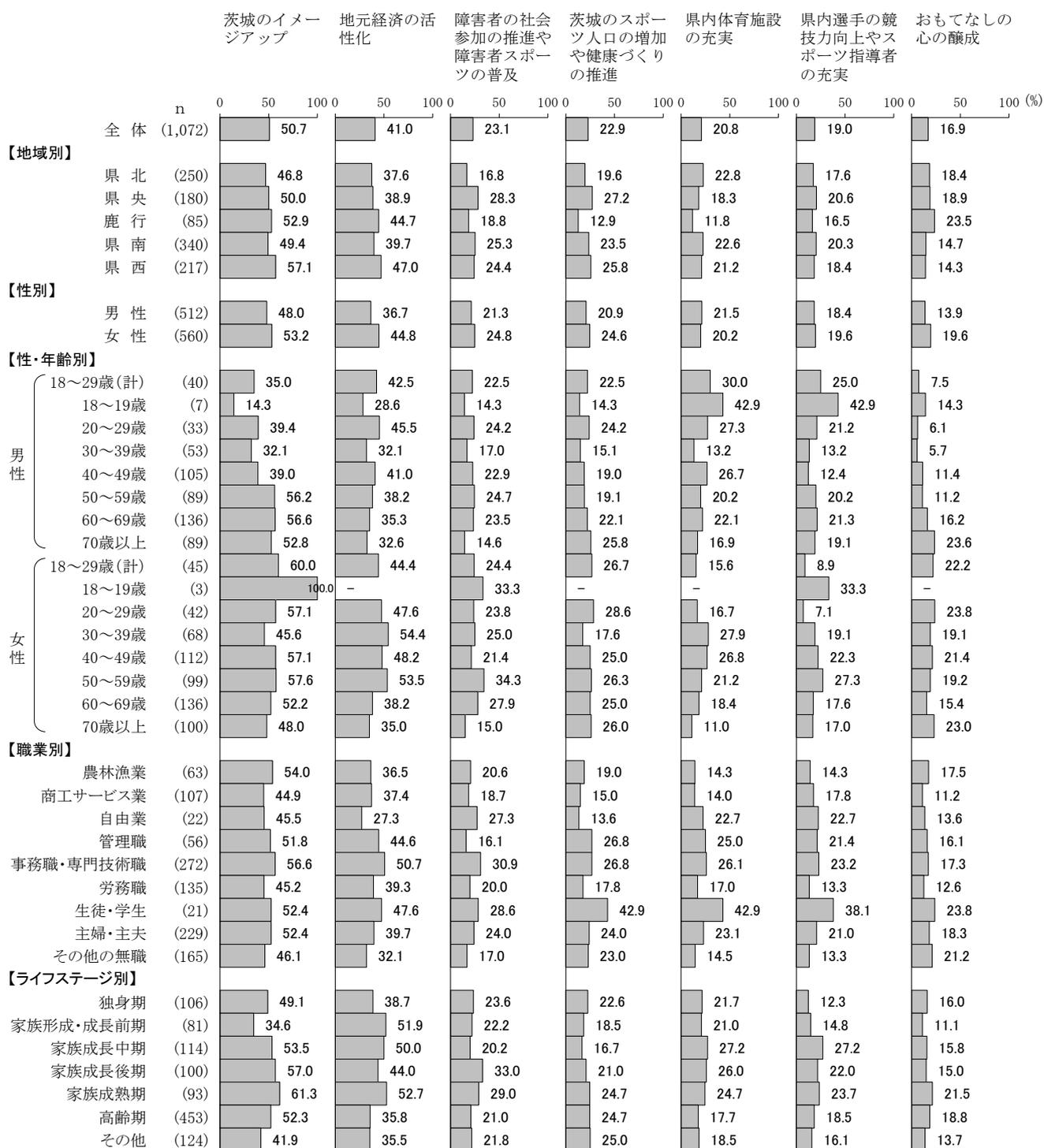
ー女性の30代と50代で「地元経済の活性化」が5割台半ばー

性・年齢別でみると、「地元経済の活性化」は、女性の30代（54.4%）と50代（53.5%）で5割台半ばと高くなっている。

ー事務職・専門技術職で「地元経済の活性化」が約5割ー

職業別でみると、「地元経済の活性化」は、事務職・専門技術職（50.7%）で約5割と最も高くなっている。

図Ⅲ 8-2 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表Ⅲ 8-1 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること
(前回調査との比較-上位5項目)

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H29) n=1,072	茨城のイメージアップ 50.7	地元経済の活性化 41.0	障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及 23.1	茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進 22.9	県内体育施設の充実 20.8
前回調査 (H28) n=1,093	茨城のイメージアップ 53.6	地元経済の活性化 37.9	茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進 24.4	県内体育施設の充実 20.1	障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及 19.4